

令和2年度新渡戸カレッジへの入校について 藤女子大学・北海道情報大学と教育連携協定を締結





環境科学事務部窓口にて飛沫感染対策実施



令和2年度新渡戸カレッジに473名が入校

全学ニュース

- 1 令和2年度新渡戸カレッジに473名が入校
- 2 藤女子大学・北海道情報大学と教育連携協定を締結
- 2 SCSK 北海道株式会社との「IT系連携授業」を実施
- 3 「北海道大学広報用写真素材」バーチャル背景画像の提供を開始
- 4 北大フロンティア基金

部局ニュース

- 6 環境科学事務部窓口にて飛沫感染対策実施
- 6 緊急座談会「ポストコロナ時代の東アジア」、オンラインで開催
- 7 医学部創立100周年記念事業「ヒポクラテスの木」植樹式を挙

学内規定 8

諸会議の開催状況 9

人事 10

- 10 新任教授紹介

訃報

- 11 名誉教授 良村 貞子 氏
- 11 名誉教授 菊地 昌實 氏

資料

- 12 在籍学生数（令和2年5月1日現在）
- 14 令和2年度外国人留学生数（令和2年5月1日現在）
- 15 令和2年度国別外国人留学生数（令和2年5月1日現在）
- 16 役職員数（令和2年5月1日現在）



緊急座談会「ポストコロナ時代の東アジア」



SCSK北海道株式会社とのIT系連携授業を実施



広報用写真素材「バーチャル背景画像」



医学部創立100周年記念事業「ヒポクラテスの木」植樹式を挙

表紙：広報用写真素材「バーチャル背景画像」（関連記事3頁に掲載）

裏表紙：キャンパス風景③ 中央ローン（北8条西6丁目付近）

■全学ニュース

令和2年度新渡戸カレッジに473名が入校

令和2年5月、基礎プログラム学部教育コース300名、オナーズプログラム学部教育コース125名及び基礎プログラム大学院教育コース36名、オナーズプログラム大学院教育コース12名の計473名が新渡戸カレッジの各プログラムに入校しました。

新渡戸カレッジでは、「新型コロナウイルス感染防止のための北海道大学の

行動指針」に基づき、令和2年度入校式の開催を中止し、一部挨拶や祝辞、オリエンテーション等についてオンラインで実施及び配信しました。

学部教育コースでは長谷川晃校長代理の挨拶と杉江和男校友会エルム会長の祝辞をウェブサイト及びELMS内で配信し、フェロー代表2名の挨拶（動画）及び修了生と在校生からの歓迎の

挨拶（動画）をELMS内で配信し、新渡戸カレッジへの入校を歓迎しました。

大学院教育コースでは、基礎プログラム及びオナーズプログラム共に、5月16日（土）にオンラインで授業及び入校時オリエンテーションを開催しました。

（学務部教育推進課）

令和2年度5月新渡戸カレッジ入校者一覧

プログラム	コース	入校生数
基礎プログラム	学部教育コース	300
	大学院教育コース	36
オナーズプログラム	学部教育コース	125
	大学院教育コース	12



森 順子フェローからの挨拶



在校生 荒 幹彦さんからの歓迎の挨拶



基礎プログラム及びオナーズプログラム大学院教育コースの入校時のオンライン集合写真

藤女子大学・北海道情報大学と教育連携協定を締結

本学と藤女子大学・北海道情報大学は、次世代アントレプレナー育成事業「Earth on EDGE」～東北・北海道からの起業復興～(以下「次世代アントレプレナー育成事業」)に関連する授業科目及び関連行事について連携、実施することを目的に、4月1日(水)に教育連携協定を締結しました。

Earth on EDGEとは、起業活動率の向上、アントレプレナーシップの醸成を目指し、我が国のベンチャー創出力を強化することを目的とした、大学コンソーシアムを支援するプログラムです。

本協定は、これまで本学と小樽商科大学・札幌市立大学が締結しており、今回新たに上記2校が加わりました。私立大学との教育連携協定の締結は大変珍しく、今後も多様な学生の参加者が増えることを期待しています。この度の協定を機に、更なる教育・研究及び地域連携を推進してまいります。

また、次世代アントレプレナー育成事業の一環であるDEMOLAプログラムでは、現在2020年度第1回を4月25日(土)～6月20日(土)にて開催しており、今後は第2回を8月8日

(土)～9月26日(土)、第3回を10月17日(土)～12月5日(土)に開催します。

参画企業、受講学生の募集も合わせて行っておりますので、ご興味のある方は産学・地域協働推進機構(demola@mcip.hokudai.ac.jp)までお問い合わせください。

(詳細はこちら
<https://demolahokkaido.wixsite.com/hokudai>)

(産学・地域協働推進機構)

SCSK北海道株式会社との「IT系連携授業」を実施

本学とSCSK北海道株式会社(本社：北海道札幌市、代表取締役社長：石丸清文、以下「SCSK北海道」)は、6月16日(火)から、未来の世界・北海道へ挑戦する「思考力」「自律力」を向上し、社会が抱える課題を解決することを目的とした、「IT系連携授業」を開講します。

SCSK北海道は、業務アプリケーションソフトウェアに特化した高付加価値サービスの創造・提供により、北海道における新たな価値創出・共創を目的にオープンイノベーションを推進しており、これまで2019年度、2020年度「DEMOLA」プログラム*1に参加しています。

この度、一般教育演習(フレッシュマンセミナー)として開講予定の2講

義「スマートフォンアプリケーション作成を通し、論理的思考を学ぼう」、「ハッカソン*2で自分たちのスマートフォンアプリケーションを作り、北海道の未来を考えよう」では、両講義合わせて100名以上のエントリーがあり、大いに議論が活性化することが期待されています。

産学・地域協働推進機構では、本授業の開講により、政府が進めるプログラミング教育(論理的思考)の向上のほか、ハッカソンを通じて仲間との共同活動によるコミュニケーション、プレゼンテーションを体験することで「思考力」「自律力」を向上し、今後も社会の課題解決に取組んでまいります。

*1：企業が抱える課題に対して学生と企業担当者がチームを組み、その解決策を約2カ月かけて練り上げていく、DEMOLA Global社提供の「フィンランド発祥の課題解決プログラム」のこと。

DEMOLA HOKKAIDO：
<https://demolahokkaido.wixsite.com/hokudai>

*2：ソフトウェアのエンジニアリングを指す“ハック”(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた造語で、プログラマーやデザイナーから成る複数の参加チームが、マラソンのように数時間から数日間の与えられた時間を徹してプログラミングに没頭し、アイデアや成果を競い合う開発イベントのこと。

(産学・地域協働推進機構)

北海道大学公開講座
 令和2年度1学期
 全学教育科目(一般教育演習)集中講義

未来をハックしろ

共催：EARTH on EDGE 北海道
 SCSK 北海道株式会社
 協力：北海道大学 IT 専攻会

※開講科目は限定的に開講いたします。
 ※開講にこの場合は必ず一般教育演習科目の修得が必要です。
 ※本講義は対面形式となります。
 ※開講にこの場合は必ず、オンライン開催にも参加する必要があります。

PROGRAMMING
 スマートフォンアプリケーション作成を通じ、論理的思考を学ぼう
 開講時期：6月16日(火) 19日(金) 23日(火) 26日(金)
 29日(日) 6月10日(金) 14日(火) 17日(金)

DEVELOPMENT
 ハッカソンで自分たちのスマートフォンアプリケーションを作り
 北海道の未来を考えよう
 開講時期：7月18日(土) 19日(日) 8月1日(土) 2日(日)

INFO
 開講時間：19:00-22:00
 開講場所：13LABO 北13条西4丁目
 問い合わせ：13LABO 北13条西4丁目
 担当：杉村 遼郎
 Tel: 011-200-9485
 Email: hokkaido@demola.jp
 mcip@hokudai.ac.jp

※13LABO 開講時間：2020年5月11日(日) 9時～18時
<http://www.hokkaido.ac.jp/lecture.html>

「IT系連携授業」リーフレット

「北海道大学広報用写真素材」バーチャル背景画像の提供を開始

総務企画部広報課では、5月から、オンライン授業やウェブ会議用等で使用できるバーチャル背景画像の提供を開始しました。従前より掲載している「北海道大学広報用写真素材」として追加したもので、本学構成員は学内ネットワークからダウンロードして利用可能です。

会議等に利用しやすいよう、学内の会議室や講義室等の屋内画像を中心に

掲載しています。また、図書館の自動書庫や情報基盤センタースーパーコンピュータシステムなど、なかなか見ることができない場所の写真も含まれておりますので、ぜひご活用ください。

また、CoSTEPや理学部のfacebookでも、屋外の画像を中心に背景画像を提供していますので、あわせてご利用ください。

◆北海道大学広報用写真素材

<https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/gakunai/photo/>

※学内ネットワークからのみアクセスできます。

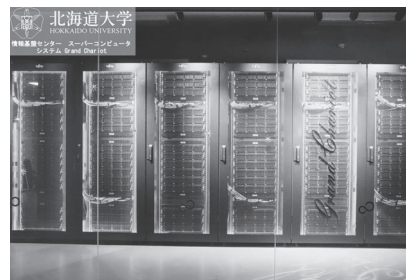
◆北海道大学理学部facebook

@School.of.Science.HU

◆いいね！Hokudai facebook

@Like.Hokudai

(総務企画部広報課)



広報用写真素材「バーチャル背景画像」

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を發揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動をする事としています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報
基金累計額（5月31日現在）

26,302件 5,135,246,403円

5月のご寄附状況

法人等10社、個人154名の方々から14,847,436円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

株式会社カジックス、一般財団法人協済会、
札幌国際プラザ外国語ボランティアネットワーク 多文化とつながるユニット SKI・LINK、
サッポロビール株式会社 北海道本社、株式会社フロンティアサイエンス、北海道大学工学部同窓会東京支部、
北海道大学東京同窓会、日本甜菜製糖株式会社

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	秋山 悟	阿部 匡樹	阿部 実代	池田 清治	池田真理子	石井 哲夫	石栗 秀
井上 利昭	井原 博	今多 将	入澤 秀次	縁記 和也	大田真理子	大野 泰熙	大原 正範
奥田 英信	小田原一史	金川 眞行	蟹江 秀星	上村 明男	川添 公貴	川端 康弘	河本 充司
喜多村 昇	金家 茂幸	久保田 充	呉 敦	黒澤 努	郷 昭一	甲谷 哲郎	小林 清一
近藤 勝洋	齋藤 久	坂本 大介	櫻田 誠司	桜間 雄蔵	笹尾 満	佐々木克郎	佐々木亮子
佐藤 努	三升畑元基	塩田 弘幸	志済 聡子	品川 守	渋谷 進	嶋田 琢磨	菅原 保孝
杉江 和男	鈴木 大介	鈴木 貴之	瀬戸山洋介	瀬名波栄潤	瀬谷 司	高井 保秀	田中 諒
千原遠見彦	辻 康夫	土家 琢磨	土屋 裕	寺澤 睦	戸田 純子	鳥羽山 聡	都丸 亮一
豊田 威信	仲 裕	中塚 英俊	長野 圭介	中村 哲司	西井 準治	西田 実弘	新田 彰
萩山 仁洋	秦 正樹	原 誠	原田 拓弥	福永 悟郎	藤澤 裕子	舩津 保浩	前田 博
松田 健一	松原 謙一	水上 匡子	皆川 一志	宮田 信幸	三代 隆博	村上 幸夫	森岡陽太郎
山崎 智也	山下 景子	山田 道夫	山村 文華	弓削 哲史	横井 成尚	横山 考	横山 達也
横山 昌宏	吉田 亜紀	吉田 眞一	吉田 広志				

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（法人）

株式会社カジックス、株式会社フロンティアサイエンス、北海道大学工学部同窓会東京支部

（個人）

佐々木 亮子、山田 道夫、山村 文華

ご寄附のお申し込み方法

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスして下さい。

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html>

①給与からの引き落とし

ホームページから「北大フロンティア基金申込書（兼・給与口座からの引落依頼書）」をダウンロードし、ご記入の上、基金事務室に提出してください。

②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、基金事務室にご持参ください。

申込書は、ホームページから「北大フロンティア基金申込書（教職員現金用）」をダウンロードしてご記入いただくか、基金事務室にもご用意していますので、基金事務室にお越しただいてからご記入いただくことも可能です。

④クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi>) の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室（事務局・学内電話 2017）

（総務企画部広報課）

■ 部局ニュース

環境科学事務部窓口に飛沫感染対策実施

環境科学事務部では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教務担当窓口に透明の飛沫防止シート及びアクリル板を設置しました。

当事務部教務担当は事務室の入り口にあり、留学生を含む大学院生をはじめ教職員、その他来訪者と接する機会が多く感染のリスクが高いため、4月16日（木）に、飛沫防止（抗ウイルス）シートを窓口のカウンター上部の天井から2.2mの幅で吊り下げて設置しました。さらに、5月1日（金）には、透明度の高いアクリル状のボードをカウンターの2か所に設置しました。アクリル状のボードは、来訪者とのやりとりや書類の受け渡しに支障が

ないように発注業者に加工を依頼し、カウンター面との隙間を20cm程度空けました。

当事務部ではこれまでも正面玄関に手指洗浄液を設置しているほか教務担当窓口カウンターにも同洗浄液を置き、職員は必ずマスクを着用して対応しています。新型コロナウイルスの感

染を完全に防止することは困難ですが、こうした一連の対策が事務部職員及び来訪者の感染のリスクを最小限に抑制するとともに、安心・安全につながるものと考えています。

（環境科学事務部）



飛沫防止シート及びアクリル板を設置した窓口（入口側より）



同左（事務室側より）

緊急座談会「ポストコロナ時代の東アジア」、オンラインで開催

4月30日（木）、メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センターの主催で緊急座談会「ポストコロナ時代の東アジア～新しい世界のコミュニケーション～」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大で集会ができない状況をふまえ、オンライン会議システム「Zoom」を利用した座談会をYouTubeでライブ配信する方式で行いました。当研究院では初の試みとなります。

新型コロナウイルスはヒト・モノ・カネの移動を遮断し、国や地域の境界を閉ざしました。非常事態に直面し、東アジアや欧州では地域間の分断や対立が顕在化したように見えます。本座談会では、東アジア各地域において政府が新型コロナ事態にどう対処してきたのか、それをメディアがどう伝えたのかを報告し、その後コメントーターとともに、ポストコロナ時代のコミュニケーションの展望と課題を議論しました。

報告は中国・台湾・香港・韓国・日本の5地域が対象でしたが、同じ東アジアでも政府と市民社会の関係は地域によって大きく異なり、それが新型コロナへの対応策の成否にも少なからず影響を及ぼしたことがわかりました。「コロナ封じ込め」に成功したと評価される地域の成功体験を共有できれば東アジアに新たな連帯のコミュニケーションが生まれると期待されます。しかし現状は、日本と韓国、中国と台湾及び香港の対立が表面化するなど、今後のコミュニケーションのあり方に課題を残しています。

初のオンラインセミナー（ウェビナー）とあって主催者側の不手際もありましたが、リアルタイムの視聴者は約90人、アーカイブ視聴は100人を超え、集会や移動が制限される中での取り組みとしては一定の成果をあげたと思われれます。

主催：メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター

（メディア・コミュニケーション研究院）



座談会の配信画面

医学部創立100周年記念事業「ヒポクラテスの木」植樹式を挙行

5月18日（月）、医学部百年記念館西側において、医学部創立100周年記念事業「ヒポクラテスの木」植樹式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を限定して、感染防止対策を取りながら執り行われました。

このヒポクラテスの木は、ギリシャのコス島の町にプラタナスの大樹があり、医学の父と呼ばれるヒポクラテスがその木の下で弟子たちに医学を教え

たことから「ヒポクラテスの木」と称されています。1969年に新潟の蒲原宏博士が「ヒポクラテスの木」に由来するDNAを持ったプラタナスの球状果をコス島から日本に持ち帰り発芽させたものを国内各地で保存し、東京大学の緒方富雄博士宅で育てられていた苗木が、1976年に二代目沖中重雄国家公務員共済組合連合会虎の門病院長へと受け継がれました。その後、七代目山口 徹虎の門病院長から原 充弘

大阪市立大学医学部附属病院長へと贈られ育てられていた由緒ある「ヒポクラテスの木」の苗木の一部を吉岡充弘医学部長が譲り受けることとなりました。

この苗木の成長とともに、本学医学部のさらなる発展が期待されます。

（医学部）



植樹する吉岡医学部長



植樹された「ヒポクラテスの木」の苗木

■ 学内規程

国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員就業規則等の一部を改正する規則

(令和2年5月14日海大達第107号)

国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程並びに国立大学法人北海道大学船員労働時間、休日及び休暇規程の一部を改正する規程

(令和2年5月14日海大達第108号)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、全ての都道府県が新型インフルエンザ等対策緊急事態措置を実施すべき区域とされ、施設の使用停止、利用の自粛等の要請が行われていることを踏まえ、子を養育する職員等及び家族の介護を行う職員等の仕事と生活の調和の観点から、当分の間、認可保育所、保育所型認定こども園、地方裁量型認定こども園、地域型保育事業所及び認可外保育施設の設置者から、入所している子の登園の自粛を要請された職員等が、勤務しないことが相当であると認められる場合は、必要と認められる期間、子の看護休暇を取得できることとすること並びに要介護状態にある家族が利用している介護サービスの提供を行う事業者から、当該サービスの利用の自粛等を求められた職員等が、勤務しないことが相当であると認められる場合は、必要と認められる期間、介護休暇を取得できることとすることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学外国人研究者及び外国人留学生借上宿舍等規程の一部を改正する規程

(令和2年5月19日海大達第109号)

令和2年3月31日をもって、公益財団法人札幌国際プラザとの間に締結していた、札幌留学生交流センター宿泊室の使用に関する覚書を解消したことに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

北海道大学電子科学研究所規程の一部を改正する規程

(令和2年6月1日海大達第110号)

電子科学研究所生命科学研究部門の研究分野を廃止し、及び新設することに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

■ 諸会議の開催状況

役員会（令和2年5月11日）

- 議案・子の看護休暇及び介護休暇の取得要件の追加について
- ・目的積立金の活用事業について
 - ・就業規則関連規程の一部改正について

協議事項・令和3年度概算要求施設整備事業について

- 報告事項・令和2年度以降の国立大学の学部における定員超過に係る国立大学法人運営費交付金の取扱いについて
- ・令和2年度補正予算について
-

教育研究評議会（令和2年5月20日）

- 議題・令和3年度概算要求施設整備事業について

報告事項・産業創出講座等の設置について

- ・寄附講座等の設置について
 - ・令和2年度補正予算について
-

役員会（令和2年5月25日）

- 議案・令和2年度教育関係共同利用拠点の認定申請について
- ・北海道大学緊急修学支援金の支給について

協議事項・非正規職員に係る休暇・休職制度の見直しについて

- ・就業規則関連規程の一部改正について

報告事項・令和元年度資金の運用状況について

- ・令和元年度病院収支の概要について
-

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

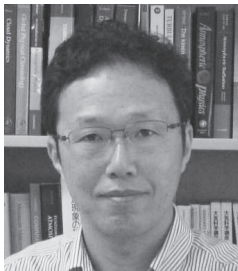
■人事

令和2年6月1日付発令

新職名(発令事項)	氏名	旧職名(現職名)
【教授】 大学院地球環境科学研究院教授 電子科学研究所教授	堀之内 武 三上 秀治	大学院地球環境科学研究院准教授 東京大学助教

新任教授紹介

令和2年6月1日付



地球環境科学研究院教授に

ほりのうち たけし
堀之内 武 氏

地球圏科学部門大気海洋物理学分野

最終学歴

京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了(平成9年3月)
京都大学博士(理学)

専門分野

気象学, 地球流体力学

令和2年6月1日付



電子科学研究所教授に

みかみ ひではる
三上 秀治 氏

生命科学研究部門
光情報生命科学分野

生年月日

昭和54年7月15日

最終学歴

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(平成18年3月)
博士(理学)(東京大学)

専門分野

バイオイメージング, 光学全般, 情報工学

訃報

名誉教授 よしむら さだこ 良村 貞子 氏
(享年66歳)



名誉教授良村貞子先生は令和2年5月9日(土)に御逝去されました。ここに生前の功績を偲んで哀悼の意を表します。

良村先生は、昭和52年3月に北海道大学医学部附属助産婦学校を卒業後、同年4月に北海道大学医学部附属病院に採用されました。その後、昭和57年4月に北海道大学歯学部附属病院へ採用され、昭和60年北海道大学医療技術短期大学部助手、平成3年8月同講師、平成6年8月同助教授を経て、平成11年4月に旭川医科大学医学部教授に昇任し、平成16年4月に北海道大学医学部教授、平成20年からは大学院保健科学研究院教授を歴任し、平成29年

3月に定年退職するまで、教育・研究・医療の充実に向けて大きく貢献されました。

北海道大学医療技術短期大学部においては、助産に関わる医療施設と専攻科との連携を強化し、臨床における研究活動の推進に努め、地域医療の質向上に寄与し、北海道大学医学部保健学科看護学専攻主任、教務委員長など大学の管理運営業務にも従事し、教育・研究推進のための基盤づくりに大きく尽力されました。

旭川医科大学医学部においては、旭川医科大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻の設置に尽力されました。設置後は、看護管理学専攻分野を担当、看護学科3大講座制を1大講座制にするための改組に取り組み、現在の看護学科の中興に寄与するとともに、JICAの「母子保健人材育成」集団研修に携わり、看護師、保健師また助産師教育者の立場から力を注がれました。

北海道大学大学院保健科学研究院においても、看護学コースの高度実践科目群にて、全国に先駆けて、保健師と助産師の養成を開始し、高度な知識・

技術と実践力を備えた看護教育者、研究者、リーダーの育成を可能とする環境を整備しました。他にも、社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「潜在助産師のための再チャレンジ支援プログラム」の実施責任者として新たな教育内容の提供や、北海道大学病院看護部と協働で、最先端医療を担う看護師養成を目的に「看護職キャリアシステムプラン」を創り上げ、教育プログラムの開発や共同研究を行い、看護管理者・教育者・実践者の育成に大きく貢献した。

以上のように、良村先生は看護学領域の発展ならびに北海道大学・北海道大学医療技術短期大学部、旭川医科大学における、教育・研究と大学院・学部運営に多大な貢献をされるとともに、同氏の薫陶を受けた方々は現在も内外で活躍されており、その功績は誠に顕著なものです。

良村先生の長年のご功績に敬意を表するとともに、ここに謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(保健科学院・保健科学研究院)

名誉教授 きくち まさみ 菊地 昌實 氏
(享年81歳)



名誉教授 菊地昌實氏が令和2年5月27日(水)に逝去されました。

先生は、昭和13年に北海道に生まれ、同36年東京大学教養学部教養学科卒業、同38年まで三菱商事株式会社に勤めたあと、同41年東京大学大学院人文科学研究科比較文学専攻修士課程修了、エックス・マルセイユ大学留学を経て、東京大学大学院人文科学研究科比較文学専攻博士課程退学、同43年10月に北海道大学文学部講師に着任し、

同48年助教授に昇任、同56年同大学言語文化助教授に配置転換、同59年教授に昇任、平成14年3月定年により退職、同年4月に北海道大学名誉教授の称号を授与されました。

先生は、昭和43年10月から33年の長きにわたって本学教養部、言語学部においてフランス語の授業を担当されました。

研究においては、先生は一貫して人間の正義と差別の問題を追求されました。アルベール・カミュ研究とそれに続くマグレブ作家研究は、西欧とイスラムの間に生きる者の矛盾と葛藤を扱い、時代を先取りした慧眼を示されましたが、それはそのまま西欧近代化と日本の狭間に苦しんだ漱石研究にも繋がりました。先生は、ユダヤ人思想家エドガール・モラン、社会思想家アルベール・メンミの著作の翻訳により、西欧文明の根底深くに埋め込まれた反ユダヤ主義の解明に迫り、反ユダヤを

越えてすべての差別問題の核心に触れるものを世に示しました。

菊地先生の情熱は退官後も衰えることなく、西欧式の人間中心の近代化が“地球(グローブ)”にもたらしたものを綿密に検討し、西洋中心主義ではこれまでまったく省みられなかった自然と一体化した日本人の生のあり方と比較検討し、深い思索によって混迷の時代に人類のめざすべき道を示唆する労作をものされましたが、残念ながら次作の執筆中にご病気で急逝されました。

公務においては各種委員を歴任して大学・部局の運営、発展に多大な貢献をされました。

先生の長年にわたるご貢献に改めて謝し、ここに謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院)

資料

在籍学生数（令和2年5月1日現在）

- (注) 1 () 内は女子の内数, < > 内は女子の比率（それぞれ赤字で表記）。
 2 [] 内は2年次編入学定員で外数。
 3 [] 内は3年次編入学定員で外数（工学部は高専卒業者の受入れ）。
 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

学部

学部等名	入学定員	在籍者数							研究生	聴講生	科目等履修生	特別聴講生	合計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人]	一人	187人	188人	241人	一人	一人	616人 (267<43.3%>)	36人	6人	7人	27人	692人 (313<45.2%>)
教育学部	50 [10]	—	48	67	75	—	—	190 (71<37.4%>)	8	1	3	2	204 (78<38.2%>)
法学部	200 [10][10]	—	225	222	247	—	—	694 (198<28.5%>)			2	7	703 (203<28.9%>)
経済学部	190	—	203	199	225	—	—	627 (136<21.7%>)	8				635 (142<22.4%>)
理学部	300	—	320	321	372	—	—	1,013 (214<21.1%>)			1	6	1,020 (216<21.2%>)
医学部	287 [5]	—	306	297	312	104	116	1,135 (491<43.3%>)	2			1	1,138 (492<43.2%>)
歯学部	53	—	55	54	51	50	52	262 (108<41.2%>)	1				263 (108<41.1%>)
薬学部	80	—	79	82	79	29	31	300 (132<44.0%>)			5		305 (132<43.3%>)
工学部	670 [10]	—	693	722	819	—	—	2,234 (285<12.8%>)				11	2,245 (288<12.8%>)
農学部	215	—	218	222	241	—	—	681 (266<39.1%>)	2	4		6	693 (269<38.8%>)
獣医学部	40	—	42	42	44	39	43	210 (112<53.3%>)				1	211 (113<53.6%>)
水産学部	215	—	225	221	217	—	—	663 (167<25.2%>)	1			1	665 (167<25.1%>)
現代日本学 プログラム課程	—	—	18	12	13	—	—	43 (26<60.5%>)					43 (26<60.5%>)
総合教育部	—	2,645	—	—	—	—	—	2,645 (755<28.5%>)					2,645 (755<28.5%>)
合計	2,485 [15][30]	2,645	2,619	2,649	2,936	222	242	11,313 (3,228<28.5%>)	58	11	18	62	11,462 (3,302<28.8%>)

※学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

研究所等

研究所等名	研究生	特別研究学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合計
高等教育推進機構	4人	人	46人	1人	51人(31<60.8%>)
国際連携機構			—	—	0(0<0.0%>)
量子集積エレクトロニクス研究センター	1		—	—	1(1<100.0%>)
低温科学研究所	1		—	—	1(1<100.0%>)
電子科学研究所	1	1	—	—	2(1<50.0%>)
遺伝子病制御研究所	1		—	—	1(1<100.0%>)
触媒科学研究所	1	1	—	—	2(1<50.0%>)
スラブ・ユーラシア研究センター	1		—	—	1(1<100.0%>)
情報基盤センター	3		—	—	3(1<33.3%>)
北方生物圏フィールド科学センター	1		—	—	1(1<100.0%>)
観光学高等研究センター	1		—	—	1(1<100.0%>)
総合博物館			—	—	0(0<0.0%>)
合計	15	2	46	1	64(40<62.5%>)

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程, 下段は2年課程の学生数。
生命科学の博士課程の上段は3年制博士後期課程, 下段は4年制博士課程の学生数。
医学院の修士課程1年次の上段は公衆衛生学1年コースの学生数。

■大学院

Table with columns: 研究科等名, 修士課程 (博士前期) [入学定員, 在籍者数], 専門職学位課程 [入学定員, 在籍者数], 博士課程 (博士後期及び博士一貫) [入学定員, 在籍者数], 研究, 聴講, 科目等履修生, 特別研究学生, 特別聴講学生, 合計.

(学務部学務企画課)

令和2年度外国人留学生数

【部局別】

学部等

令和2年5月1日現在

部局名	国費留学生		外国政府派遣留学生		私費留学生		合計
	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	
文教育学部	1 (1)					60 (40)	61 (41)
法経学部					1	7 (5)	8 (5)
理学部					3 (1)	8 (6)	11 (7)
薬学部	1				21 (7)	6 (2)	27 (9)
工学部					1 (1)	1 (1)	2 (1)
農学部	31 (3)		4 (1)		16 (3)	11 (3)	62 (10)
獣医学部					5 (5)	6 (3)	11 (8)
水産学部						1 (1)	1 (1)
総合教育課程	14 (4)				3 (2)	2	5 (2)
現代日本学プログラム課程	4 (2)				43 (20)		57 (24)
合計	52 (10)		4 (1)		38 (24)	111 (67)	298 (141)

大学院等

部局名	国費留学生				外国政府派遣留学生				私費留学生				合計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	
文学研究大学院	3 (2)		7 (5)						88 (64)		21 (16)	1 (1)	120 (88)
文学研究科			4 (3)				2					4 (3)	4 (3)
法学研究科			1 (1)				1		1 (1)		34 (19)		41 (23)
情報科学研究科	2		5 (2)				2 (1)		42 (23)		6 (1)	16 (9)	66 (34)
情報科学研究科				4 (2)					25 (5)		21 (5)	4 (1)	59 (14)
薬学研究所			3				2					2 (1)	6 (3)
水産科学研究科			5 (1)				1		7 (1)		24 (10)		36 (11)
水産科学研究科				1 (1)									1 (1)
環境科学研究科				1					12 (7)		16 (5)	3 (1)	37 (14)
地球環境科学研究科	7 (2)		11 (6)				4 (2)		85 (40)		64 (31)	1 (1)	172 (82)
地理学研究所				3 (1)								11 (5)	14 (6)
理学研究所	1		15 (7)						27 (14)		31 (7)	3 (1)	77 (29)
農学研究所	9 (7)		16 (8)				2 (1)					3 (1)	3 (1)
生命科学研究所	3 (2)		20 (6)		1		3 (2)		31 (18)		48 (20)	4 (3)	110 (57)
先端生命科学研究所									46 (25)		24 (7)	6 (3)	6 (3)
教育学研究所	1 (1)		1				1 (1)					1 (1)	1 (1)
国際広報メディア・観光学研究所	1		5 (4)						80 (58)		21 (13)	2 (2)	109 (77)
メディア・コミュニケーション研究所				2 (2)								12 (10)	14 (12)
保健科学研究科			1 (1)						21 (12)		8 (7)		30 (20)
工学研究所	17 (2)		24 (6)		1 (1)		17 (6)					4 (1)	234 (63)
工学研究所				4 (3)					107 (30)		64 (17)	13 (4)	17 (7)
総合化学研究所	2 (1)		8 (6)				6 (3)		37 (13)		58 (21)		111 (44)
経済学研究所	5 (2)		3 (1)						70 (49)	6 (6)	13 (8)	2 (2)	99 (68)
医学研究所	1		6 (5)				2 (2)				1		1
医学研究所									6 (3)		26 (15)		41 (25)
医学研究所			1				1				4 (4)		2 (2)
歯学部			1 (1)								22 (13)		6 (4)
歯学部												1 (1)	23 (14)
歯学部											1 (1)		1 (1)
獣医学研究所			15 (4)								9 (4)		1 (1)
獣医学研究所												1 (1)	24 (8)
獣医学研究所			6 (3)								4 (4)		1 (1)
医理工学研究所			1						1		6 (1)		10 (7)
国際感染症学研究所			18 (11)								11 (4)		8 (1)
国際食資源学研究所	2 (1)		1 (1)						6 (3)		4 (4)	1	29 (15)
公共政策学教育部											23 (12)		14 (9)
公共政策学連携研究部												4 (2)	23 (12)
観光学高等研究センター												4 (2)	4 (2)
量子集積エレクトロニクス研究センター												1 (1)	1 (1)
低温科学研究所				1 (1)								1 (1)	1 (1)
電子科学研究所				1			1 (1)						2 (1)
遺伝子病制御研究所												1 (1)	1 (1)
触媒科学研究所												2 (1)	2 (1)
スラブ・ユーラシア研究センター				1 (1)									1 (1)
情報基盤センター												3 (1)	3 (1)
北方生物圏フィールド科学センター												1 (1)	1 (1)
高等教育推進機構												4 (1)	4 (1)
合計	54 (20)	0	178 (82)	19 (12)	2 (1)	0	44 (18)	1 (1)	732 (395)	29 (18)	560 (252)	129 (72)	1,748 (871)

日本語研修生等

高等教育推進機構	日本語・日本文化研修生			日本語研修生		合計
	国費	外国政府派遣	私費	国費	私費	
	25 (14)	3 (3)	18 (13)	1		

外国人留学生総数（「留学」以外の在留資格の者を含む）

学部留学生数	大学院留学生			研究生等	日本語研修生 日本語・日本文化研修生	留学生総数	外国人学生 （「留学」以外）	留学生及び外国人学生 総計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程					
187 (74)	788 (416)	29 (18)	782 (352)	260 (152)	47 (30)	2,093 (1,042)	42 (18)	2,135 (1,060)

* ()内は女子を内数で示す

* 修士課程には博士前期課程を、博士課程には博士後期課程を含む

* 研究生等には特別研究学生及び特別聴講学生を含む

(学務部国際交流課)

役 職 員 数

令和2年5月1日現在

部 局 等	職 種	総 長	理 事	監 事	小 計	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	小 計	URA職	専門職	事務職員	技術職員	合 計	
役員	員	1人	5人	2人	8人												8人
政策	策 調 整														4		4
監査	査													5			5
事務	総務												3	96	12		111
局	企画													79			79
	財務													90			90
	学務													36	1		37
	研究													11	24		35
	施設													15			15
	国際													90			90
附属	図書													17			17
法	学 研 究 科					36	14		4	2	56		3				76
水産	科学 水産科学 水産学					25	33		23		81				36		117
函館	キャンパス 事務													23	3		26
環境	科学 地球環境 科学 研究					18	23		9	1	51						51
環	境 科 学 事 務													12			12
理	学院 理学 理学 理学					71	65	10	36	1	183		1		18		202
理	学 生 命 科 学 事 務													41	2		43
薬	学 研 究 院 薬 学					15	6	11	21		53				3		56
薬	学 事 務													9			9
農	学院 農学 農学 農学					42	34	30	17		123				11		134
農	学 食 資 源 学 事 務													25	2		27
生	命 科 学 院 先 端 生 命 科 学 研 究 院					12	5	3	6		26						26
教	育 学 院 教 育 学 研 究 院 教 育 学 部					14	19	1	3	1	38						38
教	育 学 事 務													9			9
国	際 広 報 メ デ ィ ア 観 光 学 院					26	25	1	4		56						56
メ	デ ィ ア ・ 観 光 学 事 務													9			9
保	健 科 学 院 保 健 科 学 研 究 院					21	12	9	25		67						67
工	学 院 工 学 研 究 院 工 学 部					88	96	3	83		270		2		51		323
工	学 系 事 務													66	3		69
綜	合 化 学 院																
経	済 学 院 経 済 学 研 究 院 経 済 学 部					23	17		2		42		2				44
経	済 学 事 務													8			8
医	学 院 医 学 研 究 院 医 学 部					35	30	21	64	2	152					13	165
医	学 系 事 務													43	2		45
菌	学 院 菌 学 研 究 院 菌 学 部					19	19	1	36		75				4		79
菌	学 事 務													10	1		11
獸	医 学 院 獸 医 学 研 究 院 獸 医 学 部					17	12	1	14		44				3		47
獸	医 学 系 事 務													21			21
理	工 学 院																
国	際 感 染 症 学 院																
国	際 食 資 源 学 院																
文	学 院 文 学 研 究 院					51	32		8		91	3					94
文	学 事 務													17			17
情	報 科 学 研 究 院					36	34		17		87						87
公	共 政 策 学 教 育 部 公 共 政 策 学 連 携 研 究 院					12	5	2			19						19
北	海 道 大 学 病 院					4	14	51	82		151			125	659		935
低	温 科 学 研 究 所					13	9	1	21		44			7	8		59
電	子 科 学 研 究 所					14	14		16		44				10		54
遺	伝 子 病 制 御 研 究 所					9	5	2	10		26				7		33
触	媒 科 学 研 究 所					7	6		7		20				6		26
ス	ラ ブ ・ ユ ー ラ シ ア 研 究 セ ン タ ー					7	2		2	1	12						12
情	報 基 盤 セ ン タ ー					7	5		2		14						14
人	獸 共 通 感 染 症 リ サ ー チ セ ン タ ー					6	5	3	4		18				2		20
ア	イ ソ ト ー プ 総 合 セ ン タ ー					1	1		1		3				2		5
量	子 集 積 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 研 究 セ ン タ ー					3	3				6						6
北	方 生 物 園 フ ィ ー ル ド 科 学 セ ン タ ー					13	17		7		37			19	70		126
観	光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー					3	2				5						5
アイ	ヌ ・ 先 住 民 研 究 セ ン タ ー					1	5		1		7						7
社	会 科 学 実 験 研 究 セ ン タ ー																
環	境 健 康 科 学 研 究 教 育 セ ン タ ー																
北	極 域 研 究 セ ン タ ー					4	1		4		9						9
広	域 複 合 災 害 研 究 セ ン タ ー						1		1		2						2
脳	科 学 研 究 教 育 セ ン タ ー																
外	国 語 教 育 セ ン タ ー																
総	合 博 物 館					3	3		2		8						8
大	学 文 書 館						1				1		2				3
学	生 相 談 総 合 セ ン タ ー						3	1			4		4				8
保	健 セ ン タ ー					1					1				7		8
埋	蔵 文 化 財 調 査 セ ン タ ー								1		1						1
国	際 連 携 研 究 教 育 局					10(35)	8(16)	3(2)	3(15)		24						24
技	術 支 援 本 部																
情	報 環 境 推 進 本 部												2				2
ア	ド ミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー																
人	材 育 成 本 部																
創	成 研 究 機 構						2		1		3		1		8		12
創	成 研 究 機 構 化 学 反 応 創 成 研 究 拠 点					(10)	(1)										
高	等 教 育 推 進 機 構					7	10		10		27	1			4		32
サ	ス テ イ ナ ブ ル キ ャ ン パ ス マ ネ ジ ム 本 部																
安	全 衛 生 本 部					2					2		1				3
大	学 力 強 化 推 進 本 部												9				9
産	学 ・ 地 域 協 働 推 進 機 構					1					1		7				8
総	合 I R 室												2				2
国	際 連 携 機 構					1					1	1	3				5
北	キ ャ ン パ ス 合 同 事 務 部														18		18
合	計	1	5	2	8	678	598	154	547	8	1,985	16	31	905	972		3,917

※国際連携研究教育局の職員数の()内は、北海道大学ユニットの本務者数で内数。当該職員は、原籍組織の職員数に計上。

※創成研究機構化学反応創成研究拠点の職員数の()内は、主任研究者 (PI) で内数。当該職員は、原籍組織の職員数に計上。

(総務企画部人事課)

編集メモ

6月になり、最高気温が20度を超える日が続いており、キャンパス内も緑がまばゆくなってきました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、生活が困窮している学生のために、多くの方々からご寄附を賜りました。ご厚志に感謝を申し上げますとともに、寄附者の皆様から寄せられた応援メッセージをご紹介します。ぜひご覧ください。

<https://www.hokudai.ac.jp/fund/voice=1&y=2020>

裏表紙メモ

北海道大学のキャンパスの風景を様々な角度からご紹介する「キャンパス風景」。

今月は正門から入って100mくらいのところにある中央ローンです。晴天の日には小川や緑地は近所の子どものためのいい場となっています。

キャンパス風景 3 中央ローン（北8条西6丁目付近）



北大時報 ⑥ No.795 令和2年6月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2162 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。 <https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html>